

# Weekly Report



## 名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	島村恵三
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一步を踏み出し、  
10年後のアイリスを創造し、  
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

### 第413回 例会

2022年8月31日 13:00～

- 司 会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉 唱 君が代、手に手つないで
- 出席報告 出席者数 13名 / 27名  
出席率 48.1%
- ゲ ス ト
- ビジター 常滑ロータリークラブ  
地区大会実行委員長 伊那輝様  
幹事 富田真規様

### ニコボックス

- 常滑ロータリークラブ 地区大会実行委員長 伊那輝様、幹事 富田真規様  
会場で皆様にお会いすることを心よりお待ちしております。
- 島村恵三 会長  
伊那実行委員長、富田幹事、ようこそアイリスへ。地区大会ではお世話になります。久留宮さん、本日卓話宜しくお願ひ致します。
- 加藤正広 幹事  
本年度地区大会実行委員長 伊那輝三様、幹事 富田真規様、ようこそアイリス RC の例会へお出で下さいました。地区大会のPR宜しくお願ひ致します。
- 安井忠 ローターリー財団委員長  
地区財団セミナーへ荒山さんに参加して頂きました。忙しい中、ありがとうございました。
- 久留宮恭子 会場監督委員長  
本日、自己総会、宜しくお願ひ致します。

### 会長挨拶



みなさん、こんにちは。8月最後の例会です。早いもので本年度がスタートしてもう2ヶ月が終わりました。明日から9月に入ります。9月は第2週に夜間親睦例会が伊藤さんの香楽であります。7月同様、楽しい例会となりますので、メンバーの皆様にはスケジュールを調整して頂き、参加して頂ければと思います。

さて、一般的な9月の行事といえば9月10日が中秋の名月、十五夜。23日が秋分の日、お彼岸で昼と夜の長さがほぼ同じになる日です。そして9月21日から30日までの間、秋の交通安全運動が実施されます。9月27日は安倍元総理の国葬。ということで、今日は交通ルール、マナーについて少しお話しさせていただきます。

2022年10月より道路交通法の改正により、白ナンバーでも5台以上保有する事業者に対してアルコール検知器を使ったアルコールチェックが義務化になります。また、安全運転管理者を1名選任することが定められております。届出が必要で、選任していない場合、5万円以下の罰金となります。アルコールチェックを怠ると安全運転管理者の業務違反となります。もしも運転者が飲酒運転を行った場合、運転者だけでなく、代表者や管理責任者にも5年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられる恐れがあります。車両20台から副安全運転管理者の選任を必要とし、以降20台を超えるごとに1人を加えます。しかしながら、アルコール検知器が不足している為、10月の法改正に間に合わないことから、実施時期がずれ込むそうです。該当する会社の方は、よく注視していただければと思います。

次に高速道路での運転についてです。高速道路の本線事故件数のうち、約2割が重体に関わる事故となっています。渋滞に関わる事故で最も危険なのが、渋滞最後尾に着く時です。

では、渋滞交尾での防衛運転について。

1つ目は、ハザードランプやポンピングブレーキで後ろの車に渋滞を伝える。

2つ目は、後ろの車が減速するまで目を離さない、前の車にも注意し、車間距離を十分にとること。

3つ目は、後ろに何台か、できれば5～6台着くまでは気を緩めない。

ちなみに、渋滞の最後尾に着く時、みなさんは追い越し車線と走行車線、どちらの車線を走りますか。渋滞の後尾では、走行車線の走行が推奨されています。追い越し車線では右側には中央分離帯、左側は走行車線のため、路肩もなく逃げ場もありません。走行車線の場合、左側には路肩があり、後ろを見てあぶないと思ったら路肩に逃げる事ができます。

ちなみに渋滞の時は左の走行車線の方が右の追い越し車線より速いそうです。一番遅いのはやたら車線変更する車だそうです。

### 幹事報告

皆さんこんにちは、本日の例会に地区大会のPRで

本年度地区大会の実行委員長の伊奈様と幹事の富田様がおいで頂いております。後ほど地区大会のPRを頂きます。

「アールブリュット作品を飾ってみませんか」…という事で、社会福祉法人理事長で蒲郡RC会員の小田さんからの協力依頼です。興味のある方は例会場入り口に資料が有りますのでお持ち帰りください。

本日の卓話は、新入会員の久留宮さんの自己紹介卓話です、楽しみにしております。それと、本日例会終了後に第3回理事会を開催致します。理事役員の方はご出席をお願い致します。

以上、本日の幹事報告でした、有難う御座います。

## 地区大会 PR



2022年11月12～13日に開催される「2022～23年度 国際ロータリー第2760地区 地区大会」のPRにホストクラブである常滑ロータリークラブより地区大会実行委員長 伊那輝三様と幹事の富田真規様にお越し頂き、ご挨拶

とご説明を頂戴致しました。

## 卓話



卓話者:会場監督 久留宮恭子 様  
演 題:自己紹介と職業について  
皆さま、こんにちは。

7月より新しく入会させていただきました、久留宮恭子です。改めましてどうぞよろしくお願ひいたしますまた平素は当ホテルご利用賜りましてありが

とうございます。当ホテルは、昨年の7月に名鉄ホテルホールディングスとして、名鉄グループの会社になりました。それまでは常勤の社長が参加させていただいておりましたので、正直私などが、、という気持ちでございましたが、入会させていただき、皆様が温かく、また女性も素敵な方ばかりで、今は不安や緊張も飛び、例会を楽しみにしております。

さて本日は貴重な自己紹介の機会を頂戴しましたので、私の家族や趣味の話、そしてこれまでに経験した仕事の話、そして現在の仕事で取り組んでいることについてお話させていただければと存じます。

私の久留宮という苗字は珍しく、初めてお会いする方からは、福岡県の久留米市をイメージされるのか「出身は九州ですか?」とよく尋ねられます。ですが、生まれも育ちも名古屋市で、職場であるこのホテルまで通勤時間15分のところにある自宅で、父親と、来月15歳になる黒パグ犬のたけじろーと3人で暮らしております。実家は鉄工所を営んでおります。

今を遡ること50数年前、先ほどお話ししました名古屋市熱田区で、祖父が9人兄弟の長男という大変にぎやかな環境で、玄孫として生まれました。兄弟が9人もいるので、家族旅行へ行くのもバスを貸切、正月やお盆になりますと、親戚一同40人ほどが自宅に集まり、大宴会が始まります。お恥ずかしいことに揃いも揃って酒豪ぞろいで、当時ビールを冷やすのに3台あった冷蔵庫では足りず、浴槽にビールが冷やしてあったのを、子供

ながらに不思議に思っておりました。ただ、おそらく血筋なのか、私もお酒が大好きに育ち、今では浴槽でビールを冷やさないとい追いつかないことに、何の不思議も感じなくなりました。

ビールに限らずいろんなお酒をたしなみますが、特に日本酒が大好きで、酒蔵見学や日本酒のイベントがあると一人でも参加しております。常滑の白老さんの酒蔵解放には、毎年お邪魔しております。どうせなら気に入った日本酒を自分の好きなおちょこで飲みたくて、陶芸教室にも10年ほど通いました。

いつか、新潟などお米の美味しい土地のお酒を楽しみたいと思っておりますので、皆さん、お勧めのお酒などありましたらぜひ教えていただけたらうれしいです。

お酒以外の趣味として、旅行が好きです。この数年は残念ながらコロナ禍で出かけておりませんが、今までで特に印象に残っているのは、エジプト旅行とカナダへのオーロラ鑑賞ツアーです。エジプト旅行では、ギザのピラミッド、スフィンクス、カイロ博物館を見学して、念願のラクダに乗ることもできました。

予想以上に治安が悪く、往路15分ほどの距離が3000円で乗車できたのが、復路のタクシー運転手から乗車前に8000円と言われ、運転手と大喧嘩をしてタクシーから無理やり降りてしまった怖い経験もいたしました。また、歴史的な建物に入るには、エジプト政府の役人へのわいろが必要で、実際にガイドさんが渡していたのが衝撃的でしたし、パトカーが観光バスを誘導してくれたのもとても複雑な気持ちで乗車しておりました。衛生面も決して安全とは言えず、事前にガイドさんから、水道水や生野菜についている水にも気を付けるように説明を受けました。

私は、母が根っからの心配性でスーツケースいっばいにミネラルウォーターと梅干を入れてくれておりました。実際に観光地で販売していた瓶のお水は、量がマチマチで、絶対に危険だと思っておりましたが、私のスーツケースを見て、お水は買えば大丈夫!と笑っていた同行者3名も、売店のお水を飲んで体調不良で寝込んでしまいました。ミネラルウォーターでパンパンになっていたスーツケースはととても重かったのですが、心から母に感謝しました。

今では笑って語れるアクシデントも多かったエジプト珍道中ですが、最終日に見たナイル川の水面を真っ赤に染める夕日が美しかったのは印象的でした。

エジプトと同じメンバーで旅行したカナダへのオーロラ鑑賞ツアーは、ちょうど太陽の黒点の動きが活発な年でオーロラ鑑賞に適していると聞き、極寒を覚悟の上で、2001年に企画いたしました。エジプトでの珍道中と同じようにカナダでも、空港で預けたよりによって防寒着を入れた荷物が1日目に届かないアクシデントも発生し、ヒヤヒヤしました。結果、なぜか荷物は私たちの先回りをして最終の降り立つイエローナイフ空港に届いていました。

ツアーの地であるイエローナイフは、北緯60度であり、夜の気温はマイナス25度で、それこそバナナで釘が打てる気温です。レンタルの防寒着を着ていないととても外出ができない寒さで、昼間のオプションの犬ぞりツアー体験でも耳が凍傷になってしまう人も何人かいま

した。3日間の鑑賞ツアーは、事前に簡単な講習会も受けたのですが、実際に夜空を見上げてみると、浮かぶ白いものがすべてオーロラに見えてしまい(笑)、なんとか最終日に緑色に輝くカーテンのようなオーロラを見ることができて、自然のすばらしさに感激しました。ここ数年旅行に行っていないので、また以前のように旅行に行くのを楽しみにしています。

さて、旅行やお酒が趣味の私、今ではスーツ姿でこのホテルで勤務しておりますが、初めての就職先は幼稚園でした。年上の保護者が多い中でのプレッシャーもありましたが、子供たちもかわいく、また教えられることも多く良い経験となりました。5歳児のクラスを受け持った時、教え子にかなりもてておりました、数人の男の子から、大きくなったらくるみや先生と結婚する！大人になったら迎えにいっくね！と毎日のようにプロポーズの言葉をもらっていましたが、30年経ち、未だに誰もお迎えにきてくれません。今でも卒園児数人と交流があり、結婚式に呼んでもらったり、時には飲みに行ったりしております。

その後も子供にかかわる仕事、ベビーシッターの派遣、また病院内や事業所内に託児所を提案する仕事にも携わっておりました。研修を受けた東京では、ホテルに当然のように託児所があり、ベビーシッターの需要も高かったのですが、名古屋では需要は少なく、ベビーシッターに関する営業活動はなかなか大変なものでした。今は時代が変わり、女性の社会進出も当時に比べては進んでいます。いつか、当ホテルにも託児所を作りたいと願望をもっております。

そしてご縁があってこのホテルに入社したのが14年前になります。入社してからずっと営業の仕事に携わっておりますが、日々たくさんのお客様との出会いがあり、一期一会のご縁を大切に楽しい毎日を送っております。

昨年、社内での女性の意見をもっと活用できるようにと発足しました女性部会の会長を務めております。各企業では、女性が多岐にわたり女性ならではの着眼点を活かして様々な商品を開発しています。例えば・日産自動車のノート。車の開発は男性のアイデアと思われがちですが、この車は女性のアイデアを活かし後部座席が広く空き、チャイルドシートが乗せやすい作りになっています。また専業主婦の方の思い付きから生まれた、乗り換えマップのナビットは、ベビーカーをご利用のママさんたちだけでなく、車いすをご利用の方など多くの人たちの役に立つサービスとなっています。

組織論に詳しい三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングの安達幸裕氏の分析によると、男性が1つの機能を徹底的に高めようとするのに対し、女性は複数の価値を両立させるとのことです。

われわれ女性部会の活動として、3か月に1度、アイデアボックスを設置し、従業員から様々なアイデアを募集し、実際に女性のみで商品化をする取り組みをしております。第一号の商品が「ジェンダーリビールケーキ」です。皆さんあまり耳なじみがないと思いますが、このケーキは、妊婦さんが、赤ちゃんの性別をパパやご両親にケーキを使って発表するアイテムになります。このケーキも女性の意見が多く反映されており、例えば、よく街中で販売しているジェンダーリビールケーキは、切

口の色合いが毒々しいブルーやピンクのクリームが入っていてインスタ映えはするのですが、弊社のケーキは、妊婦さんが安心して口にしていられるような食材を厳選しております。ホールケーキをカットすると、女の子であれば妊婦さんの体に良い葉酸を含むイチゴ、男の子であればビタミン豊富なキウイなど季節の果物がこぼれてきます。お砂糖もてんさい糖を使用しておりますので安心して召し上がっていただくことができます。

アイデアの中には、商品につながるものだけではなく、社会的な課題への対応など様々な意見ももらいます。LGBT、パートナーシップ制度、などの言葉は、皆さまもよく耳にされるかと存じますが、ある若い女性スタッフの意見として、「名古屋市でもパートナーシップ制度の導入を検討しているので、男女のペアでなくても披露宴や結婚式を挙げられる婚礼プランを作ってはどうか？」というものでした。この意見を受けて、私自身がLGBTやパートナーシップ制度に対する理解が浅く、どう扱えばいいのか大変迷いました。釈迦に説法などところだと思いますが、LGBTとは性的マイノリティーのことで最近では有名人でもLGBTに該当することをカミングアウトする方がいらっしゃいますが、推定で11人に1人の割合で該当する方がいらっしゃるとのことです。

そしてパートナーシップ制度は、同性同士の婚姻が法的認められない日本で、自治体が独自にLGBTカップルに対して「婚姻に相当する関係」とする証明書を発行し、様々なサービスや社会的な配慮を受けやすくする制度です。この制度を活かすことで、公営住宅の家族として入居が可能になったり、生命保険の受取人にパートナーを指名することが可能になったりします。まだまだ偏見で捉えられることの多いLGBTの方たちですが、私たちは偏見を持つことなく、お客様一人一人を大切に、一期一会のご縁を大事にしたいと考え、2021年9月より、弊社では市内のホテルではいち早く、多様なゲストが安心できる環境を実現するために、LGBTの研修制度なども取り入れております。

国内では、東京の渋谷の2015年を皮切りに、多くの自治体が制度を導入しており、東京都ではまもなく都全体で制度が確立されます。愛知県では、西尾市などがすでにパートナーシップ制度を取り入れておりますが、名古屋市では2021年度に導入と言われておりましたが、まだ遅れております。9月22日に弊社でマスコミの方向けの説明会を開催いたしますので、もしご興味ありましたらぜひご参加いただけましたら幸いです。

「姉さん、事件です！」から始まる、ホテルをご存じでしょうか？日々、何かしらの事件、問題が起きております。坂口さんからも、何かホテルの裏話でも、とリクエストをいただきましたが、今回は控えさせていただきます、また夜間例会などでおいおいお話させていただければと思っております。

以上、とりとめのない話ばかりになってしまいましたが、私の自己紹介を終わります。微力ながら、私のできることを精一杯やらせていただき、少しでも皆様のお力になれるようがんばりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご清聴どうもありがとうございました。